

事業評価票

157	特別養護老人ホーム等整備費補助 (福祉保健局高齢社会対策部／一般会計)	事業開始	昭和 38 年度
		事業終了予定	平成 ー 年度

【局評価】

1	どのような経緯で事業を始めたか、何をを目指すのか
<p>○ 老人福祉法第20条の4及び第20条の5に規定する養護老人ホーム及び特別養護老人ホームの整備に要する費用の一部を補助することにより、その整備を促進し、もって老人福祉の向上を図る。</p>	
根拠法令等	老人福祉法、介護保険法

2	どのように取り組み、どのような成果があったか								
<p>○ 主な事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備費補助（創設、増築、改築） ・大規模改修費補助 ・ユニット化改修費補助 ・多床室のプライバシー保護改修費補助 <p>○ 上記の取組に加えて、26年度に以下のメニューを充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助単価の拡充 ・建築価格高騰への対応 <p>○ 成果（平成27年3月末時点）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">区 分</th> <th style="width: 15%;">24年度</th> <th style="width: 15%;">25年度</th> <th style="width: 15%;">26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>整備病床</td> <td style="text-align: center;">39,917床</td> <td style="text-align: center;">41,340床</td> <td style="text-align: center;">42,898床</td> </tr> </tbody> </table>		区 分	24年度	25年度	26年度	整備病床	39,917床	41,340床	42,898床
区 分	24年度	25年度	26年度						
整備病床	39,917床	41,340床	42,898床						

3	どのような課題や問題点があったか
<p>○ 東京都長期ビジョンにおいて、平成37年度末までに特別養護老人ホームを6万床分整備する目標を掲げている。26年度末の整備床数は42,898床となっており、整備目標の達成に向け、更なる整備促進が必要である。</p> <p>○ 一方で、現状の促進係数の基準整備率では、十分なインセンティブが働かない区市町村もあり、整が停滞する懸念がある。</p> <p>○ さらに、都市部を対象とした建物の自己所有用件を緩和する国の動きにも対応していく必要がある。</p>	

4	局として、事業をどうしていきたいか																				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; border: 1px solid black; border-radius: 10px;">拡大・充実</td> <td style="width: 25%; border: 1px solid black;">見直し・再構築</td> <td style="width: 25%; border: 1px solid black;">移管・終了</td> <td style="width: 25%; border: 1px solid black;">その他</td> </tr> </table>		拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他																
拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他																		
<p>○ 整備率の低い区市町村に適用している促進係数の対象範囲を広げるとともに、適用単位を区市町村域から老人福祉圏域へと変更し、整備の更なる促進を図る。</p> <p>○ 国の規制緩和を見据え、社会福祉法人等への貸付を目的としたオーナー向けの補助も対象に加えていく。</p>																					
歳入	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">26年度決算額</td> <td style="width: 10%;">5,701,000</td> <td style="width: 10%;">千円</td> </tr> <tr> <td>27年度予算額</td> <td>14,140,813</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>28年度見積額</td> <td>95,000</td> <td>千円</td> </tr> </table>	26年度決算額	5,701,000	千円	27年度予算額	14,140,813	千円	28年度見積額	95,000	千円	歳出	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">26年度決算額</td> <td style="width: 10%;">8,809,003</td> <td style="width: 10%;">千円</td> </tr> <tr> <td>27年度予算額</td> <td>14,140,813</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>28年度見積額</td> <td>16,243,794</td> <td>千円</td> </tr> </table>	26年度決算額	8,809,003	千円	27年度予算額	14,140,813	千円	28年度見積額	16,243,794	千円
26年度決算額	5,701,000	千円																			
27年度予算額	14,140,813	千円																			
28年度見積額	95,000	千円																			
26年度決算額	8,809,003	千円																			
27年度予算額	14,140,813	千円																			
28年度見積額	16,243,794	千円																			

【財務局評価】

5	財務局として、成果や課題などについて、どう考えたか
<p>○ 都ではこれまで、整備費の負担軽減や整備率の低い地域に対する促進係数の導入など、設置促進のための取組を進めてきた。</p> <p>○ 整備床数は増加してきているものの、整備が進んでいる地域に偏在が見られるなど、東京都全体の整備率の更なる向上を図っていく必要がある。</p>	

6	28年度予算で、どのように対応したか				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; border: 1px solid black; border-radius: 10px;">拡大・充実</td> <td style="width: 25%; border: 1px solid black;">見直し・再構築</td> <td style="width: 25%; border: 1px solid black;">移管・終了</td> <td style="width: 25%; border: 1px solid black;">その他</td> </tr> </table>		拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他
拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他		
<p>○ 長期ビジョンで策定した整備目標を達成するため、当面5年間、局の促進係数の拡大・充実案を適用していくとともに、国の規制緩和の動きにも迅速に対応していく必要があることから、局案のとおり予算を計上する。</p>					
歳入	28年度予算額	95,000 千円			
歳出	28年度予算額	16,243,794 千円			